

認定心理士

1 「認定心理士」の正式な名称は「日本心理学会認定心理士」といい、「心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している」、と日本心理学会が認定した人のことである。

2 公益社団法人日本心理学会認定心理士認定資格細則に基づき、本学学生は以下の条件を満たしている場合に申請が可能である。

(1) 16歳以降少なくとも2年以上日本国に滞在した経験を有する者。

(2) 本学において、別表の一覧に掲げる科目を履修し、必要単位を修得し、卒業した者。

※(1)(2)の条件を卒業見込みの学年度において満たしている者は、申請をすることができる。

必要単位については以下のとおりである。

ア 別表の科目名について以下の条件を考慮しながらa～hの合計36単位以上を修得すること。

イ 「基礎科目」a、c領域それぞれ4単位以上、b、c領域の合計が8単位以上となること。なお、c領域の科目について、実験的方法で知覚や認知、社会などの基本的な内容の課題を4つ以上含む計6課題について標準的レポートを作成していること。

ウ 「選択科目」d、f、gの3領域で各領域4単位以上修得し、「選択科目」が合計16単位以上を満たしていること。

エ d、f、g3領域の各領域で少なくとも4単位以上「基本主題」に属する単位であること。

オ 残り8単位はa～hの任意の科目で充当すること。

(3) 科目等履修生は、4年制の大学を卒業した者で、上記の必要単位数を修得した者のみが申請を認められる。

3 単位に関する注意

各領域ごとに「基本主題」「副次主題」という項があるが、前者は資格にとって重要な必修知識または技術を意味し、後者は「基本」とは認められないがその範疇に入れることのできる単位とみなされる。よって、「基礎科目」や「選択科目」として単位を算定する場合は、この「基本」と「副次」という類別に基づいて前者は大学で修得した単位数そのまま、後者は修得単位数の2分の1が認定の対象とされることになる。

4 申請の方法

2の資格条件を満たし、必要全科目を修得済みの4年次生は、卒業前に認定心理士の「仮認定」を受けることができる。

「仮認定」を申請したい学生は、下記のとおり手続きをすること。

(1) 教務課で「認定心理士申請書類セット」(200円)を入手する。

(2) 申請書類を作成する。

申請書類作成に関しては、「認定心理士申請書類セット」の中に含まれている「申請書類作成について」の書類をよく読むこと。

(3) 申請書類が整ったら審査料11,000円を振り込んで、認定委員会に審査を申し込む。

(審査には3か月程度かかる。)

(4) 仮認定料30,000円を払い込む。

(5) 卒業後に、卒業証明書を認定委員会に送付することにより、「認定心理士証」が交付される。

(卒業できなかった場合、再度認定手続きを行うことになる。)

申請手続きを行う前に再度公益社団法人日本心理学会ホームページを確認すること。

<https://psych.or.jp/>

別表 認定心理士認定資格所要単位と本学開設科目の対照表

認定心理士認定資格細則に定める科目名および所要単位				左記に対応する本学の開講科目		
科目			単位	本学授業科目	単位	配当年次
基礎科目	a 心理学概論	基本主題	2	心理学概論	2	I
		副次主題	1	発達心理学	2	I
			1	臨床心理学概論	2	II
	b 心理学研究法	基本主題	2	心理学統計法	2	II
			2	心理調査・データ処理法	2	II
			2	心理学研究法	2	III
		副次主題	1	統計学入門	2	I
	c 心理学実験実習	基本主題	2	心理学実験	2	II
			2	心理的アセスメント	2	II
		副次主題	0.5	臨床心理学実習（心理テスト法）	1	III
			0.5	心理学的支援法	1	III
選択科目	d 知覚心理学・学習心理学	基本主題	2	知覚・認知心理学	2	II
			2	学習・言語心理学	2	II
	e 生理心理学・比較心理学	基本主題	2	神経・生理心理学	2	II
	f 教育心理学・発達心理学	基本主題	2	教育・学校心理学	2	I
			2	乳幼児心理学	2	II
	g 臨床心理学・人格心理学	基本主題	2	感情・人格心理学	2	I
			2	司法・犯罪心理学	2	II
			2	子ども家庭支援の心理学	2	III※ ¹
			2	福祉心理学	2	IV
	h 社会心理学・産業心理学	基本主題	2	社会・集団・家族心理学	2	III
			2	産業・組織心理学	2	IV
その他※ ²	i 心理学関連科目 卒業論文・卒業研究	基本主題	4	卒業研究	4	IV

※¹ 「子ども家庭支援の心理学」は2023年度入学生から4年次配当となる。

※² 「その他」i 心理学関連科目卒業論文・卒業研究は36単位に含まれない。a～hの科目を36単位修得しておくこと。